

市制施行 60 周年記念「さがみはら防災フォーラム」に平野理事長がパネリストとして参加しました。



6月5日神奈川県相模原市の市民会館で、相模原市制施行60周年記念の防災フォーラム開かれ、パネルディスカッションのパネリストとして防災検定協会の平野啓子理事長が登壇。「稲むらの火」の例をあげながら、「各地域に災害から身を守った先人の教えがたくさんある。コミュニティーを強くすることが大事」と強調しました。基調講演では、フリーキャスターの堀尾正明さんが、自主防災の事例を紹介し

ながら、地域が工夫して協力体制づくりに取り組むことが大切だと語りかけました。